

Indicators Update

2011年12月21日 全11頁

11月貿易統計～輸出の足踏みが続く

経済調査部 エコノミスト 長内 智

先行き不透明感の残る内容

[要約]

- **【概況】輸出は2ヶ月連続のマイナス**：2011年11月の貿易統計は、輸出の足踏み状態が続き、先行き不透明感が残る内容であった。輸出金額は前年比▲4.5%と2ヶ月連続のマイナスとなり、市場コンセンサスを僅かながらも下回った。2011年1月～11月の貿易収支が約▲2.3兆円となったことを踏まえると、2011年の貿易収支は第2次石油ショック後の1980年以来の赤字となる公算である。
- **【地域・品目別動向（名目）】アジア向けが弱い**：主要品目別の輸出金額では、「電気機器」、「一般機械」の減少が注目される。輸入については、代替燃料の需要増加と価格高止まりを背景に、「液化天然ガス」の輸入金額が前年比+76.0%、輸入数量が同+21.3%と揃って大幅に増加した。タイ向けの輸出金額は、大洪水の影響で前年比▲24.0%と前月よりマイナス幅が大きく拡大した。
- **【今後の見通し】輸出は横ばい圏**：輸出は、海外経済の減速が重石となり、横ばい圏での推移が続くと考える。世界景気と為替からみた日本の輸出数量の推計値（当社推計）が弱含んでいることから窺えるように、日本の輸出を取り巻く環境は厳しさを増している。輸入価格は、今夏以降の国際市況価格の調整を受けて徐々に増勢が弱まる見通しであるが、輸入単価（輸入金額/輸入数量）が高止まりしている点に留意したい。

【概況】輸出は2ヶ月連続のマイナス

輸出の足踏み状態が続く

2011年11月の貿易統計は、輸出の足踏み状態が続き、先行き不透明感が残る内容であった。輸出金額は前年比▲4.5%と2ヶ月連続のマイナスとなり、市場コンセンサス（同▲4.3%）を僅かながらも下回った。また、輸出金額の季節調整値でも、前月比▲2.6%と2ヶ月連続のマイナスとなり、頭打ち感が強まっている。この背景として、主に海外経済の減速や円高の長期化が指摘でき、輸出の先行きについて引き続き注意が必要だと考えている。輸入金額は、資源価格の高止まりと原子力発電所事故・稼働停止問題に伴う代替燃料の需要増加によって、前年比+11.4%と23ヶ月連続のプラスとなった。この結果、貿易収支は▲6,847億円と2ヶ月連続の赤字となり、赤字幅も前月（▲2,802億円）から大きく拡大した。2011年1月～11月の貿易収支が約▲2.3兆円となったことを踏まえると、2011年の貿易収支は、第2次石油ショック後の1980年以来の赤字となる公算である。また、輸入価格は、日本の資源輸入単価（輸入金額/輸入数量）が高止まりしている影響で、前年比+12.5%と2桁台の伸びが継続した。

図表1：貿易統計の概況（原系列、前年比、%）～輸入価格の高止まりが続く

	2010年 12月	2011年										11月
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
輸出金額	12.9	1.4	9.0	▲2.3	▲12.4	▲10.3	▲1.6	▲3.4	2.8	2.3	▲3.8	▲4.5
コンセンサス												▲4.3
DIR予想												▲4.4
輸入金額	10.7	12.2	10.0	12.0	9.0	12.4	9.8	9.9	19.2	12.2	17.9	11.4
輸出数量	11.4	2.3	9.2	▲3.3	▲11.6	▲10.8	▲2.7	▲5.3	0.9	1.5	▲4.0	▲4.5
価格	1.4	▲0.9	▲0.2	1.0	▲0.9	0.5	1.1	2.0	1.9	0.9	0.2	0.1
輸入数量	7.8	11.2	4.9	5.5	1.3	5.5	1.7	▲2.6	6.0	1.0	6.0	▲1.0
価格	2.8	0.9	4.9	6.2	7.6	6.5	8.0	12.9	12.5	11.1	11.2	12.5
貿易収支	7,196	▲4,794	6,503	1,863	▲4,677	▲8,573	673	679	▲7,796	2,939	▲2,802	▲6,847

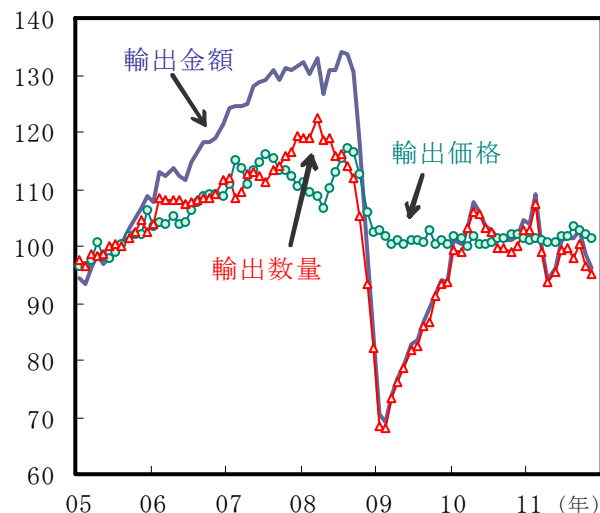
（注1）貿易収支は億円。

（注2）コンセンサスはBloomberg。

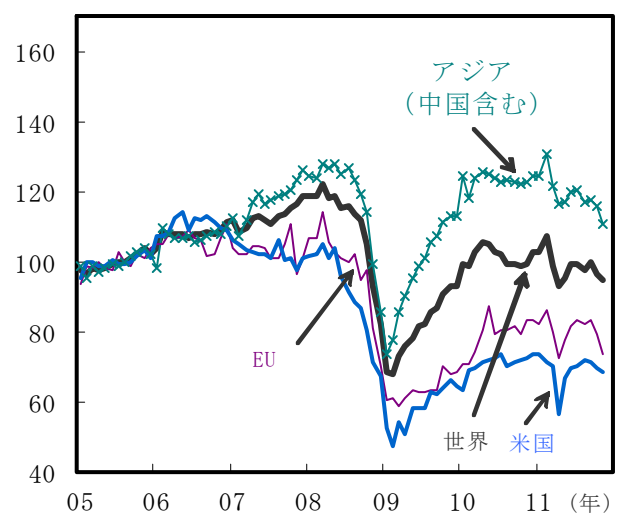
（出所）財務省、Bloombergより大和総研作成

図表2：輸出金額・価格・数量と地域別輸出数量の推移（季節調整値）～全ての地域で輸出数量が低下

（2005年=100）金額・数量・価格



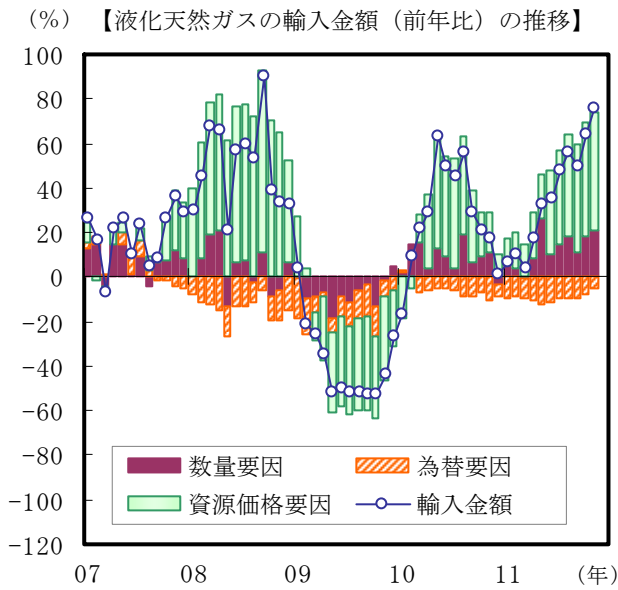
（2005年=100）地域別の数量指数



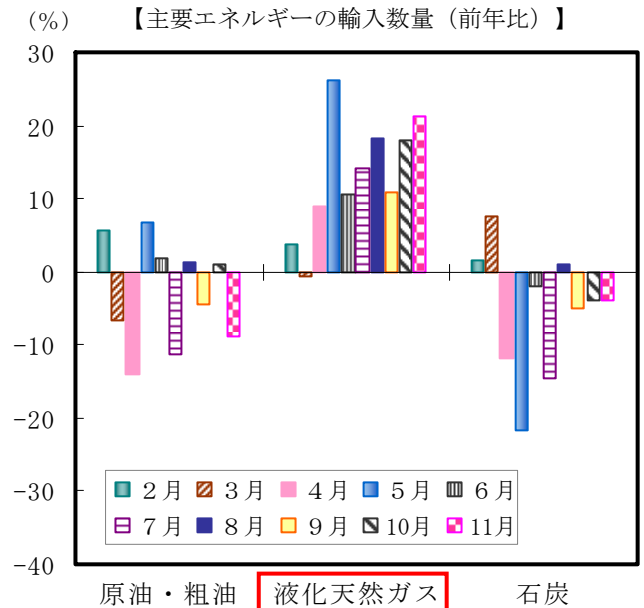
（注）季節調整は「輸出金額」が財務省、他は大和総研。

（出所）財務省統計より大和総研作成

図表 3 : 液化天然ガスの輸入金額と主要エネルギーの輸入数量 (前年比)



(注) 近似誤差により要因の合計は、全体と一致しない。
(出所) 財務省統計より大和総研作成



(出所) 財務省統計より大和総研作成

【地域・品目別動向 (名目)】アジア向けが弱い

映像機器にタイの大洪水の影響が出た可能性

主要品目別の輸出金額では、「電気機器」と「一般機械」の減少が注目される。世界的な IT 関連製品の需要鈍化が長引いている影響で「電気機器」は前年比▲10.7%と9ヶ月連続のマイナスとなった。特に「電気機器」の下位分類である「映像機器」の急速な落ち込みが目立つ。この背景として、タイの大洪水によってデジタルカメラのサプライチェーンが寸断され、同製品の製造と出荷に甚大な影響が出ている可能性を指摘することができる。「一般機械」は、アジア地域で景気減速感が強まっていることを受けて、前年比▲4.1%と3ヶ月連続で減少した。

原油・粗油の輸入数量はマイナスへ

輸入については、代替燃料の需要増加と価格高止まりを背景に、「液化天然ガス」の輸入金額が前年比+76.0%、輸入数量が同+21.3%と揃って大幅に増加した。他方、原油・粗油は、価格要因で輸入金額が前年比+15.5%と拡大基調が継続したが、輸入数量は同▲8.9%と2ヶ月振りにマイナスへ転じた。

米国向け輸出金額はプラスに転じる

また、主要国・地域別の輸出金額は、米国向けが前年比+2.0%(10月、同▲2.3%)、EU向けが同▲4.6%(10月、同▲2.9%)、アジア向けが同▲8.0%(10月、同▲6.8%)となった。個人消費が底堅く推移している米国向けがプラスに転じた一方で、景気の減速感が顕在化してきたアジア向けが弱含んだ。なお、タイ向けの輸出金額は、大洪水の影響で前年比▲24.0%と前月(同▲5.1%)からマイナス幅が大きく拡大した。

【今後の見通し】輸出は横ばい圏

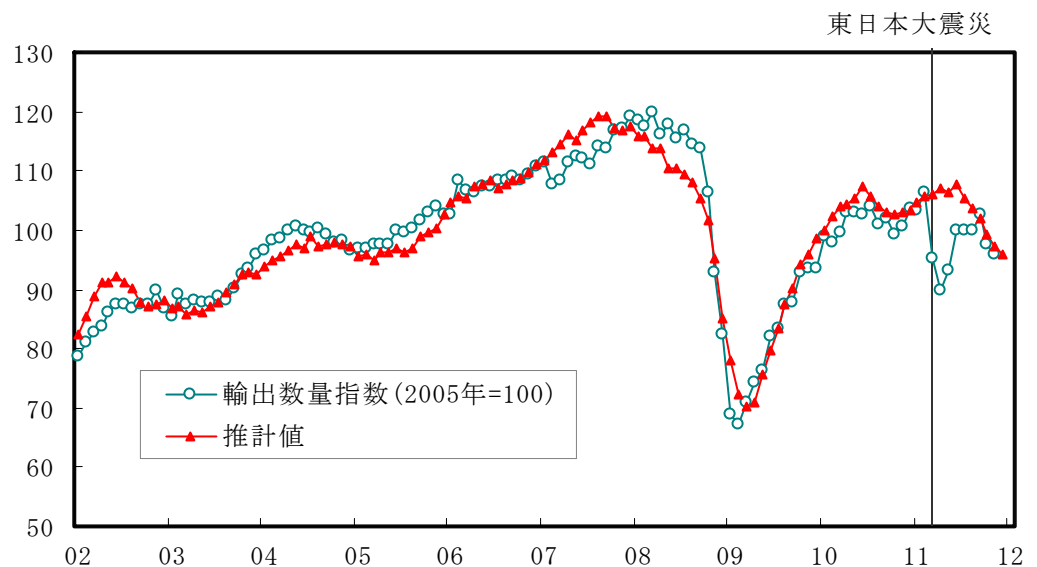
海外経済の減速が引き続き重石

輸出は、海外経済の減速が重石となり、横ばい圏での推移が続くと考える。世界景気と為替からみた日本の輸出数量の推計値（当社推計）が弱含んでいることから窺えるように、日本の輸出を取り巻く環境は厳しさを増している（図表4）。タイの大洪水に関しては、すでに復旧の動きが始まっていることを踏まえると、当社のこれまでの見方どおり輸出全体への影響は深刻化・長期化するものとはならず、タイ向け輸出も次第に持ち直してくるとみている。また、北朝鮮の最高指導者の死去を受けて東アジアの地政学的リスクが高まっているが、それ自体は経済ファンダメンタルズを直接的に悪化させる出来事でないため、輸出への影響は限定的であると考えている。ただし、北朝鮮の体制が大きく揺らぎ、アジア圏の貿易が萎縮するような事態に陥る可能性を否定することはできず、この問題の行方については今後も注意深く見ていく必要がある。

液化天然ガスの輸入単価が高止まり

輸入価格は、今夏以降の国際市況価格の調整を受けて徐々に増勢が弱まる見通しであるが、輸入単価（輸入金額/輸入数量）が高止まりしている点に留意したい（図表6）。特に、原子力発電所事故・稼働停止問題に伴う代替燃料として、輸入量が増加している液化天然ガスについては、①輸入価格が低迷している国際市況価格に連動しない仕組みであること、②輸入価格のベンチマークである原油輸入単価（JCC：Japan Crude Cocktail）よりも足下で高い伸びとなっていること、③ドルベースでは輸入単価が2008年の資源バブル時よりも高い水準まで上昇していること、が注目される。輸入価格の高止まりと海外経済の減速による輸出鈍化を踏まえると、貿易収支の改善ペースは引き続き緩慢なものに留まると考えている。

図表4：世界景気と為替による輸出数量指数

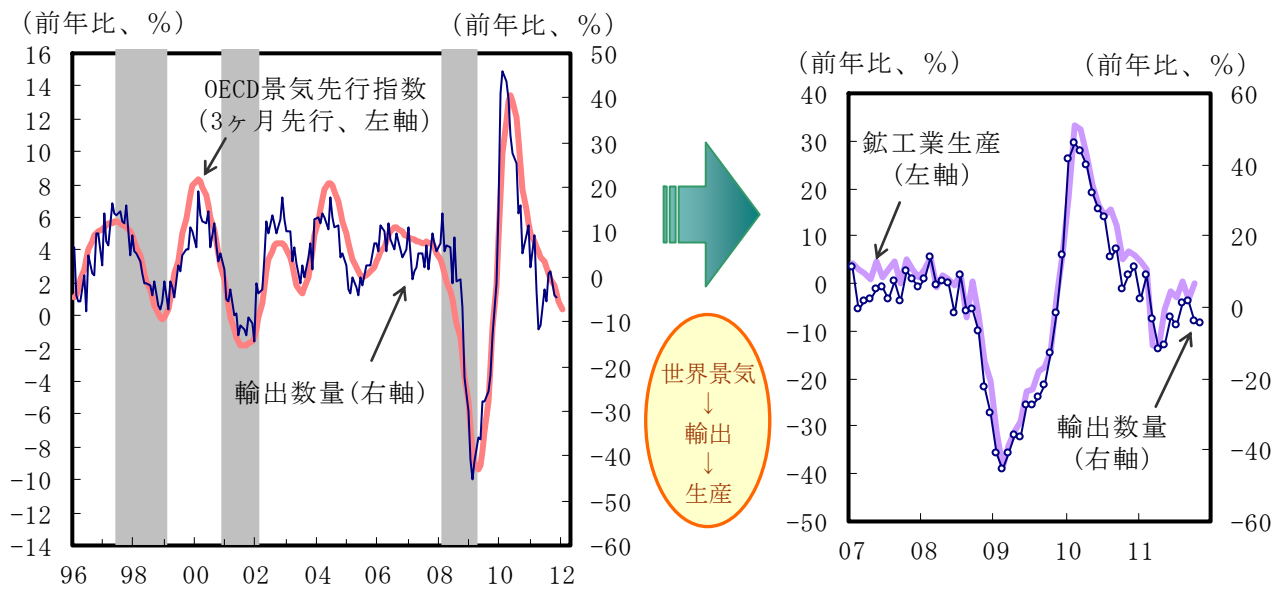


(注1) 輸出数量(推計値) = $-130.80 + 2.63 \times \text{OECD_CLI}[-2] + 0.18 \times \text{OECD_CLI_TR}[-2] - 0.53 \times \text{実質実効為替}[-2]$ (年)

* 括弧内[]は先行月数。係数は全て1%有意。推計期間は02年1月～11年2月。
OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。
OECD_CLI_TRは、トレンド復元ベースのCLI。

(注2) 輸出数量指数の季節調整は内閣府、直近月は大和総研推計。
(出所) 財務省、内閣府、OECD、日本銀行統計より大和総研作成

図表 5 : OECD 景気先行指数・輸出数量・鉱工業生産指数

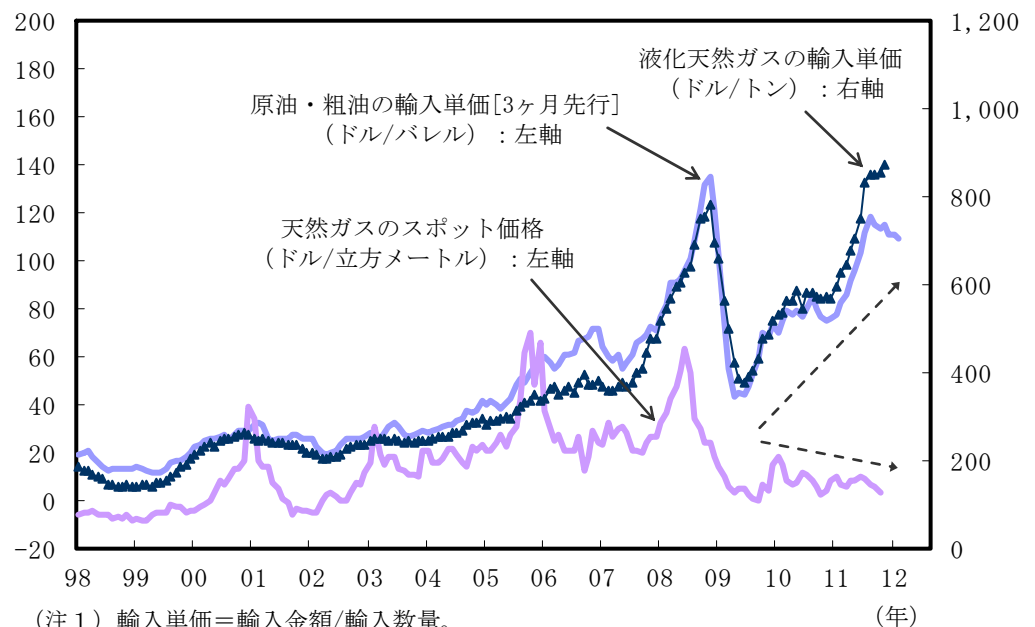


(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) シャドウは景気後退局面。

(出所) 財務省、経済産業省、OECD統計より大和総研作成

図表 6 : 液化天然ガスと原油・粗油の輸入単価、天然ガスの国際市況



(注1) 輸入単価=輸入金額/輸入数量。

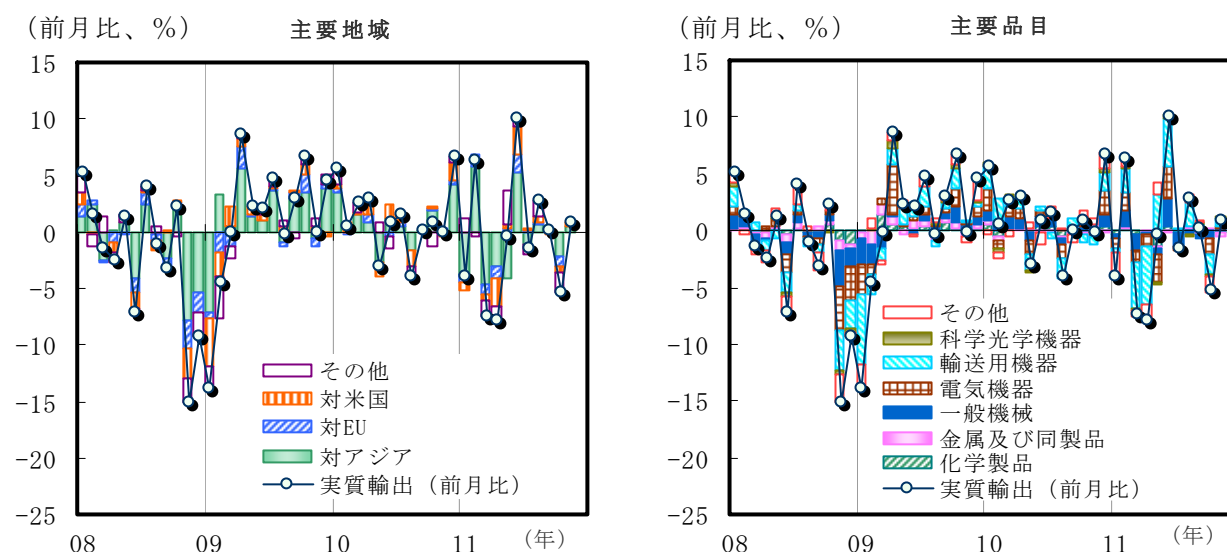
(注2) 天然ガスのスポット価格は米国のヘンリー・ハブ価格。

(出所) 財務省、IMF統計より大和総研作成

【参考】実質輸出の動向

実質輸出（季節調整値、当社試算）は、前月比+0.9%と2ヶ月振りのプラスとなった。主要国・地域別では、米国向けが前月比+2.2%、EU向けが同+0.2%、アジア向けが同+0.7%と、全ての国・地域で増加に転じた。米国向けは個人消費が底堅く推移していることがプラスに作用した一方で、EU向けとアジア向けは前月の落ち込みからの反動増という側面が強い。

図表7：実質輸出（季節調整済み前月比）の主要項目別の寄与度 ～ プラスに転じるも反動増の側面が強い



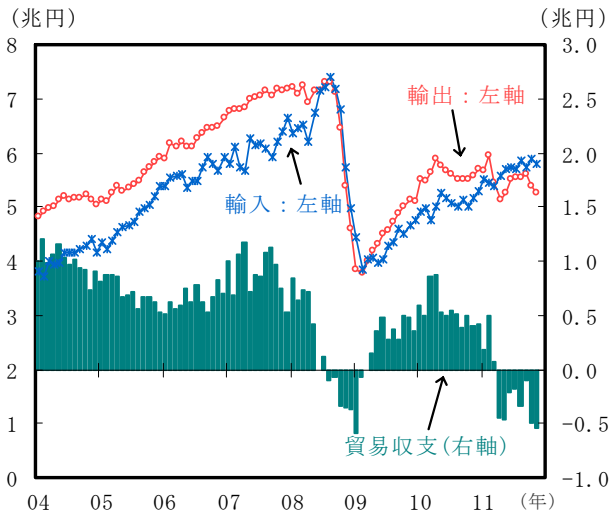
(注) 実質化と季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

概況

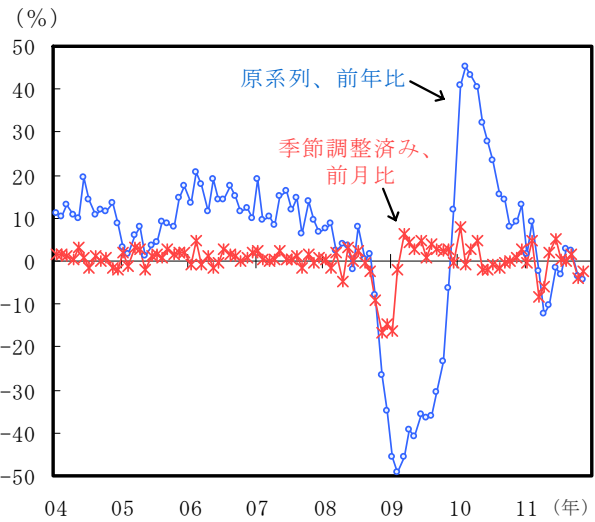
貿易収支の赤字基調が継続

輸出入と貿易収支（名目、季節調整値）

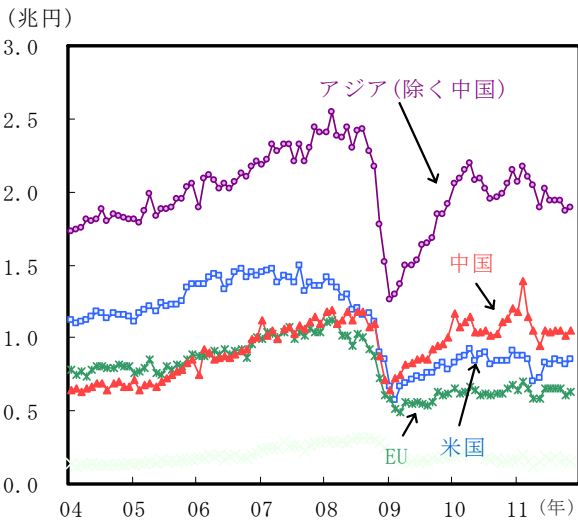


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率（名目）

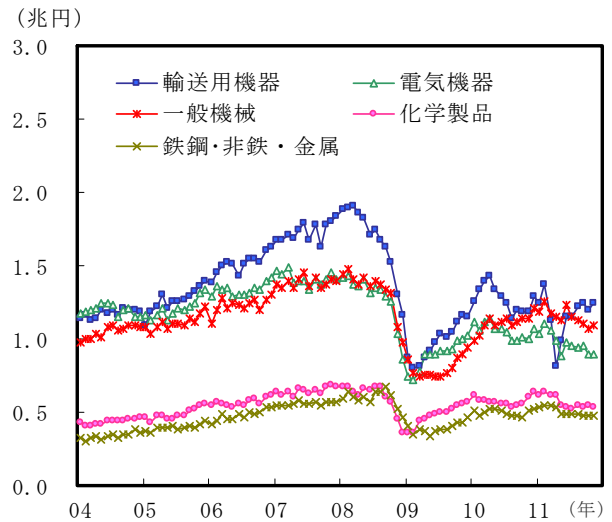


主要地域・国別の輸出額（名目、季節調整値）

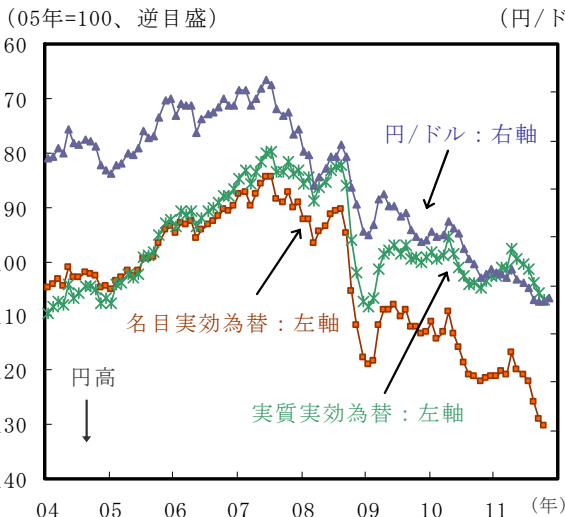


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額（名目、季節調整値）

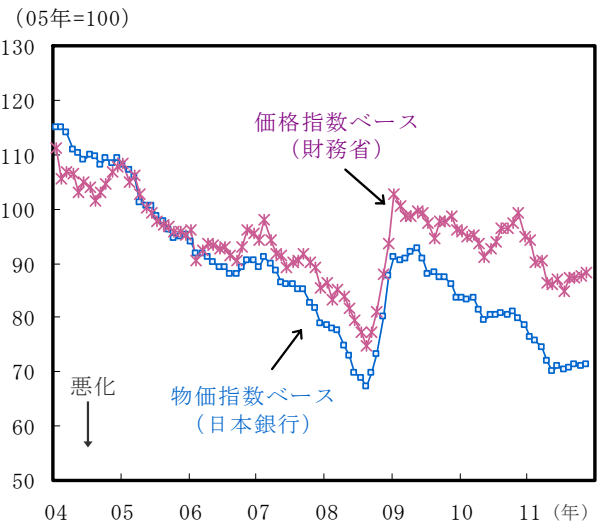


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数（輸出物価指数/輸入物価指数）。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



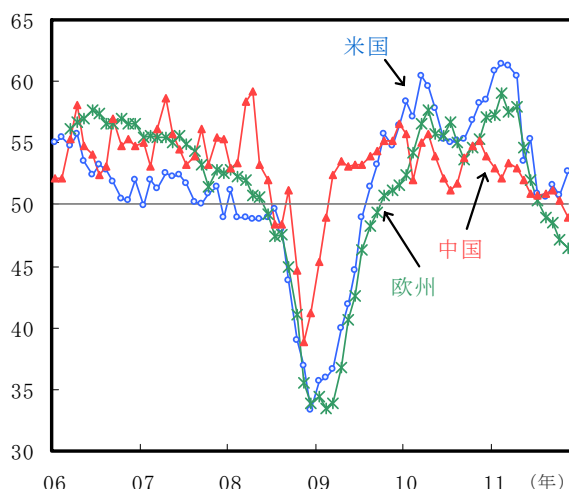
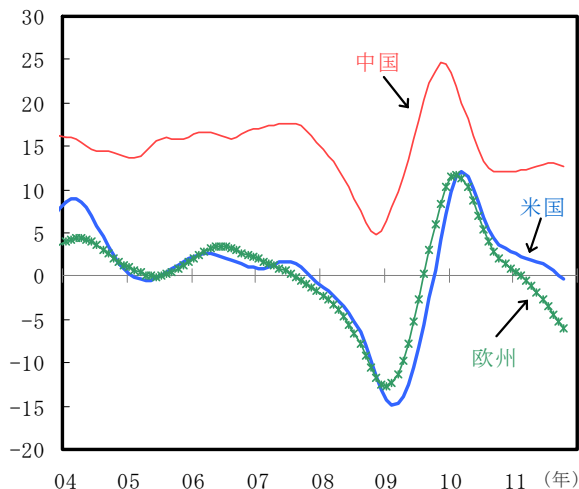
海外環境

欧州の景気後退リスクが高まる

OECDの景気先行指数（米国・中国・欧州）

製造業PMI（米国・中国・欧州）

(前年比、%)



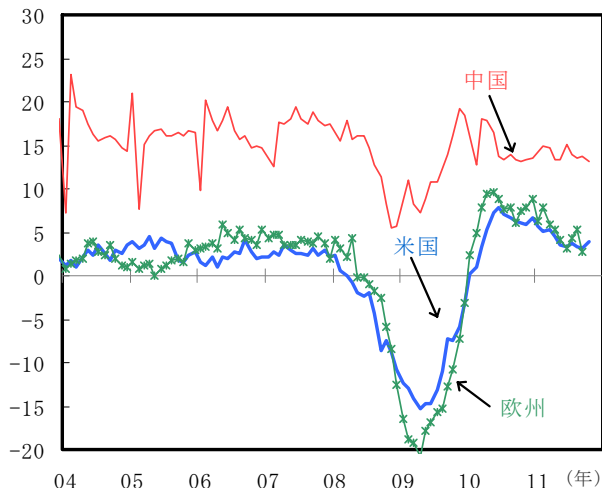
(注) 景気先行指数はトレンドを含むベース。

(出所) OECD、米ISM、中国物流購買連合会、Markitより大和総研作成

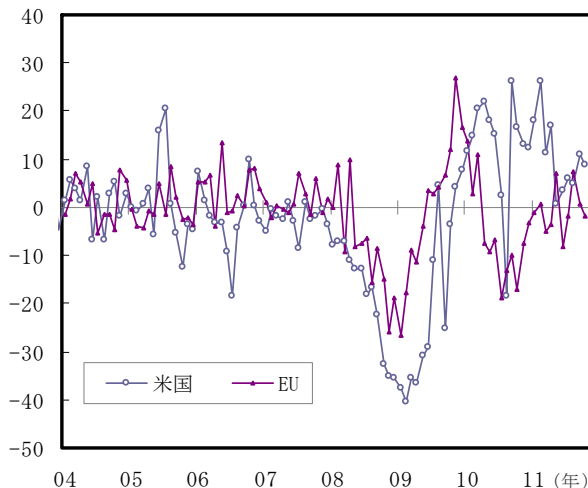
鉱工業生産指数（米国・中国・欧州）

米国と欧州の自動車販売

(前年比、%)



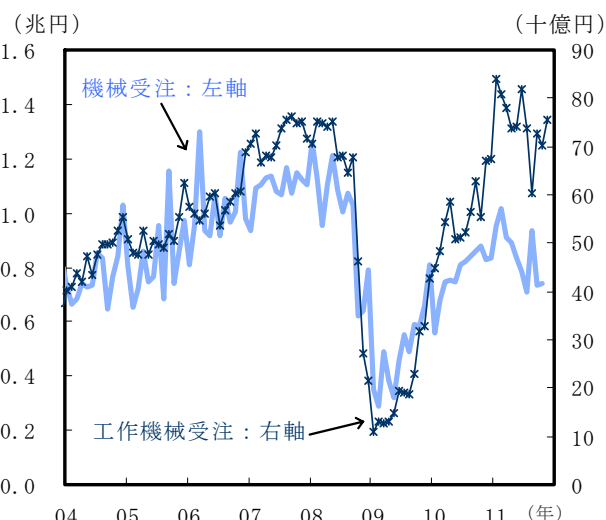
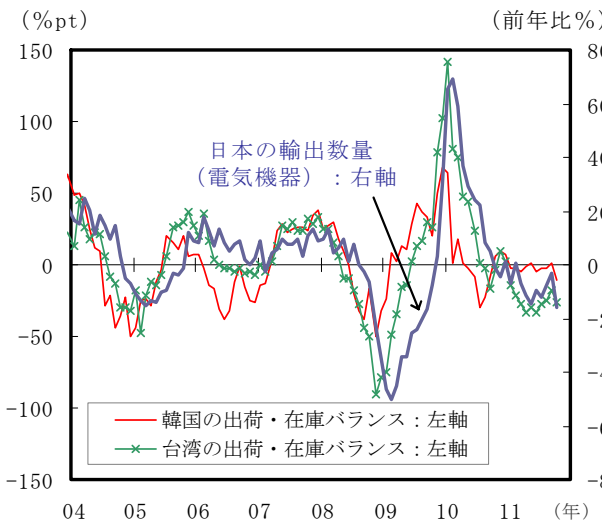
(前年比、%)



(出所) 中国国家统计局、Eurostat、FRB、オートデータ社、欧州自動車工業会(ACEA)より大和総研作成

韓国・台湾の出荷・在庫バランス（電子部品）

機械受注と工作機械受注の外需（季節調整値）



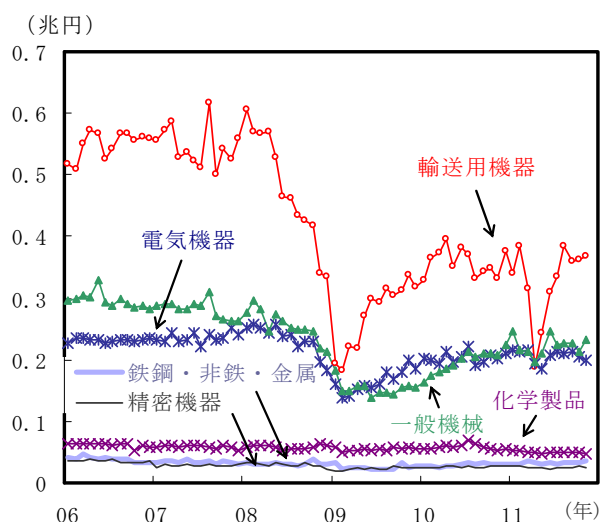
(注) 工作機械受注の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、内閣府、日本工作機械工業会統計、CEICより大和総研作成

主要地域・国別の実質輸出(季節調整済み)

電気機器の減速傾向が続く

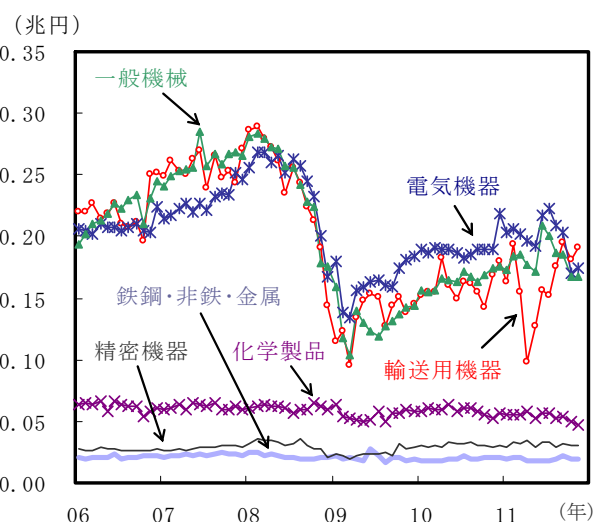
米国向け



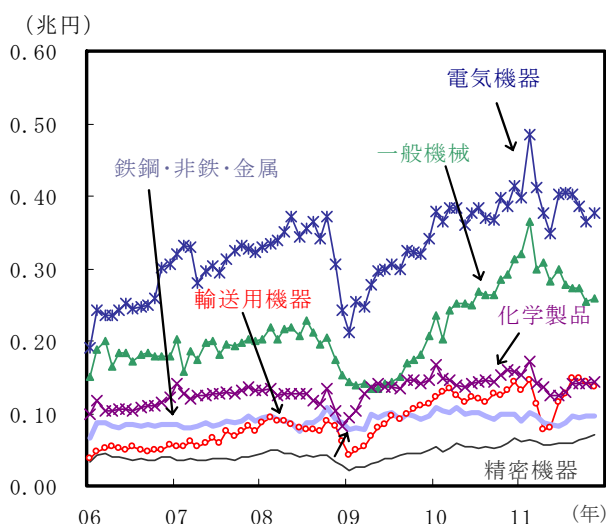
(注) 実質化と季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

EU向け



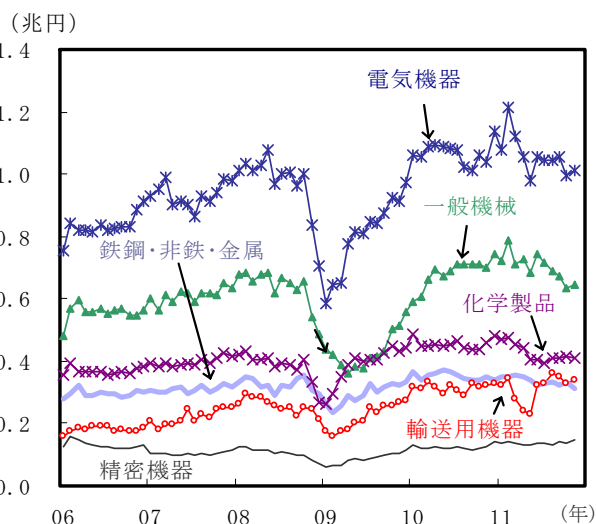
中国向け



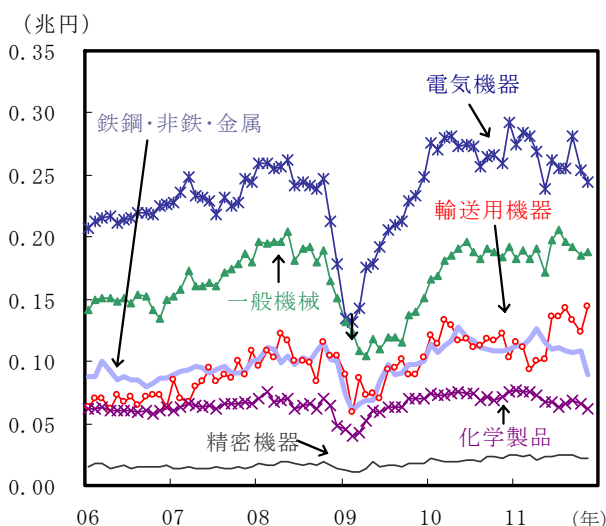
(注) 実質化と季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

アジア向け(中国含む)



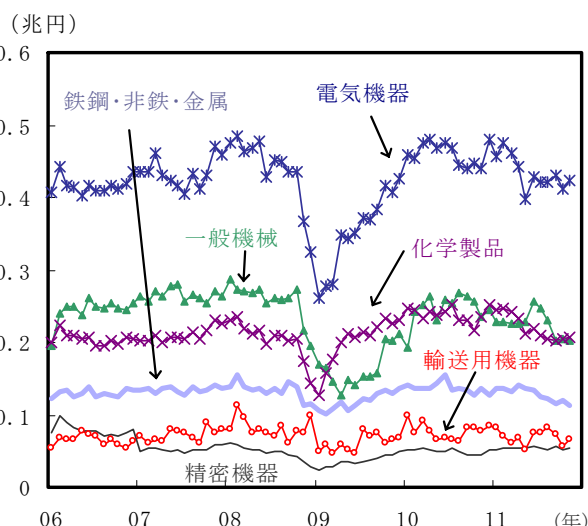
ASEAN向け



(注) 実質化と季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

NIES向け



輸出金額 内訳								
	2011/06	2011/07	2011/08	2011/09	2011/10	2011/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲1.6	▲3.4	2.8	2.3	▲3.8	▲4.5	100.0	▲4.5
食料品	▲2.6	▲12.4	▲9.7	▲12.6	▲29.2	▲9.5	0.6	▲0.1
原料品	10.2	18.9	11.8	17.0	▲2.6	7.5	1.5	0.1
鉱物性燃料	86.4	36.1	8.5	8.3	40.3	▲2.3	1.5	▲0.0
化学製品	▲4.5	▲6.5	0.2	▲1.4	▲2.7	▲12.5	9.3	▲1.3
原料別製品	▲3.3	▲1.2	2.2	1.4	▲0.4	▲4.7	12.9	▲0.6
鉄鋼	▲6.0	1.1	1.5	▲4.6	2.5	▲9.2	5.3	▲0.5
非鉄金属	▲7.1	▲1.4	5.4	13.6	▲0.6	▲4.4	1.8	▲0.1
金属製品	▲0.9	▲6.6	0.5	4.5	1.1	0.9	1.6	0.0
一般機械	11.0	1.3	2.6	▲0.6	▲5.6	▲4.1	20.5	▲0.8
電気機器	▲8.7	▲8.2	▲4.9	▲4.0	▲12.3	▲10.7	16.8	▲1.9
半導体等電子部品	▲17.1	▲15.0	▲16.4	▲9.0	▲20.8	▲15.1	5.0	▲0.8
I C	▲21.2	▲16.7	▲17.3	▲7.6	▲21.8	▲12.4	3.4	▲0.5
映像記録・再生機器	4.0	17.6	19.8	▲9.6	▲11.8	▲52.1	0.7	▲0.8
音響・映像機器の部分品	▲24.3	▲22.2	▲16.7	▲17.8	▲27.3	▲20.4	0.5	▲0.1
電気回路等の機器	▲5.1	▲10.6	0.3	2.2	▲8.1	▲4.1	2.6	▲0.1
輸送用機器	▲10.5	▲7.9	7.7	5.1	▲0.2	3.9	24.5	0.9
自動車	▲12.5	▲3.8	5.3	4.9	6.1	▲0.6	14.9	▲0.1
自動車の部分品	▲10.3	▲4.7	5.2	11.5	0.4	3.5	4.9	0.2
その他	2.1	▲1.7	8.9	14.2	▲1.9	▲5.5	12.4	▲0.7
科学光学機器	7.9	4.8	3.7	15.2	9.2	10.9	3.4	0.3

米国向け輸出金額 内訳								
	2011/06	2011/07	2011/08	2011/09	2011/10	2011/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲6.1	▲8.2	3.5	0.4	▲2.3	2.0	100.0	2.0
食料品	7.1	5.8	3.6	▲10.0	▲5.6	▲8.3	0.4	▲0.0
原料品	▲41.2	▲3.3	▲22.3	▲7.2	▲5.0	▲5.8	0.4	▲0.0
鉱物性燃料	101.2	▲29.5	▲36.6	▲91.3	873.3	835.6	0.7	0.6
化学製品	▲10.4	▲19.8	▲9.7	▲6.9	▲6.4	▲11.7	5.1	▲0.7
原料別製品	4.3	▲5.2	▲0.6	4.6	▲0.6	13.5	7.6	0.9
鉄鋼	26.8	5.0	14.6	13.0	14.0	30.8	2.3	0.6
非鉄金属	17.3	13.1	7.9	2.2	▲10.6	▲4.7	0.5	▲0.0
金属製品	▲9.2	▲14.9	0.2	13.5	12.2	22.7	1.6	0.3
一般機械	17.8	3.3	8.4	4.5	▲1.1	8.5	24.0	1.9
電気機器	▲7.6	▲10.3	1.5	0.8	▲8.2	▲8.9	13.8	▲1.4
半導体等電子部品	▲29.8	▲14.7	▲11.7	9.2	▲14.5	▲11.4	2.0	▲0.3
I C	▲38.3	▲18.7	▲13.1	13.1	▲17.1	▲12.0	1.2	▲0.2
映像記録・再生機器	▲0.3	12.2	25.0	▲4.0	▲19.4	▲58.6	1.1	▲1.6
音響・映像機器の部分品	▲24.2	▲18.2	80.1	▲16.0	▲13.4	▲6.1	0.3	▲0.0
電気回路等の機器	▲18.3	▲29.4	▲10.4	▲7.8	▲5.0	8.3	1.6	0.1
輸送用機器	▲20.0	▲11.5	10.2	0.5	▲1.0	3.4	38.3	1.3
自動車	▲23.6	▲14.4	15.3	▲4.6	▲0.8	▲0.4	28.5	▲0.1
自動車の部分品	▲20.1	▲11.0	▲9.2	15.5	▲7.4	5.3	6.1	0.3
その他	▲6.2	▲12.1	▲0.2	▲1.5	▲6.7	▲6.2	9.7	▲0.7
科学光学機器	▲12.6	▲7.1	▲5.8	▲0.4	0.8	▲3.9	2.5	▲0.1

EU向け輸出金額 内訳								
	2011/06	2011/07	2011/08	2011/09	2011/10	2011/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	8.0	6.0	6.0	7.1	▲2.9	▲4.6	100.0	▲4.6
食料品	47.9	▲1.7	▲19.1	22.5	▲14.4	1.6	0.2	0.0
原料品	20.9	34.9	4.4	81.4	▲9.2	24.8	1.0	0.2
鉱物性燃料	809.3	▲96.2	▲95.5	▲97.1	▲95.9	▲97.6	0.0	▲1.7
化学製品	3.4	4.3	▲3.3	1.3	▲6.2	▲11.8	7.0	▲0.9
原料別製品	8.6	1.8	6.8	15.8	0.6	▲2.0	6.6	▲0.1
鉄鋼	▲14.7	▲27.1	▲0.7	4.2	▲8.3	▲22.0	1.0	▲0.3
非鉄金属	1.3	28.7	10.7	100.9	▲8.0	15.7	0.8	0.1
金属製品	9.9	▲8.5	5.4	▲1.4	▲1.6	▲0.8	1.2	▲0.0
一般機械	24.4	15.0	9.3	11.3	▲4.4	▲5.8	24.8	▲1.5
電気機器	5.3	12.7	2.6	▲1.5	▲15.8	▲14.9	16.8	▲2.8
半導体等電子部品	▲0.2	▲5.8	▲21.0	▲28.3	▲33.8	▲24.6	2.5	▲0.8
I C	▲16.2	▲6.4	▲12.6	▲19.9	▲18.2	▲2.5	1.3	▲0.0
映像記録・再生機器	14.1	29.8	8.3	▲8.7	▲30.1	▲53.9	1.5	▲1.7
音響・映像機器の部分品	▲31.6	▲11.0	▲42.2	▲47.0	▲52.1	▲32.8	0.4	▲0.2
電気回路等の機器	1.7	11.1	10.8	6.3	▲7.2	▲11.9	1.5	▲0.2
輸送用機器	2.7	▲9.0	3.6	20.4	21.1	5.9	24.7	1.3
自動車	1.5	▲5.7	7.4	31.9	25.1	▲13.7	12.1	▲1.8
自動車の部分品	9.7	3.4	2.7	9.4	5.4	4.7	5.9	0.2
その他	▲5.3	15.5	20.3	0.7	▲4.6	4.9	18.7	0.8
科学光学機器	0.5	3.1	▲16.7	3.2	▲1.2	3.1	4.1	0.1

アジア向け輸出金額 内訳								
	2011/06	2011/07	2011/08	2011/09	2011/10	2011/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲1.7	▲2.8	0.3	0.2	▲6.8	▲8.0	100.0	▲8.0
食料品	▲7.3	▲15.3	▲10.7	▲13.6	▲33.2	▲7.9	0.9	▲0.1
原料品	14.0	20.3	16.1	11.3	▲2.2	5.2	2.3	0.1
鉱物性燃料	105.7	49.3	16.1	29.9	20.3	31.4	2.2	0.5
化学製品	▲3.1	▲4.6	1.9	0.5	▲1.5	▲12.9	13.1	▲1.8
原料別製品	▲6.3	▲2.2	1.9	0.5	▲2.1	▲9.2	16.6	▲1.5
鉄鋼	▲9.0	▲1.0	▲0.4	▲5.5	▲1.5	▲15.2	7.2	▲1.2
非鉄金属	▲8.7	▲3.8	7.1	11.1	1.6	▲1.8	3.0	▲0.1
金属製品	▲2.7	▲1.9	1.4	5.1	▲0.4	▲5.9	1.8	▲0.1
一般機械	4.5	▲1.2	▲4.9	▲8.4	▲13.5	▲10.4	20.4	▲2.2
電気機器	▲11.0	▲10.4	▲6.8	▲3.9	▲12.6	▲10.2	21.0	▲2.2
半導体等電子部品	▲17.5	▲15.9	▲15.8	▲7.9	▲20.3	▲14.3	7.8	▲1.2
I C	▲19.9	▲16.7	▲17.6	▲8.1	▲22.3	▲12.9	5.5	▲0.8
映像記録・再生機器	3.4	13.3	22.1	▲15.7	14.7	▲44.3	0.5	▲0.4
音響・映像機器の部分品	▲18.6	▲18.2	▲7.3	10.7	▲14.0	▲18.0	0.7	▲0.1
電気回路等の機器	▲2.9	▲8.4	0.4	4.2	▲9.0	▲4.6	3.7	▲0.2
輸送用機器	▲1.9	4.2	18.1	3.7	▲0.6	▲0.6	10.3	▲0.1
自動車	▲2.3	9.4	13.9	10.1	18.3	8.2	4.9	0.3
自動車の部分品	▲10.4	0.9	13.3	13.3	0.7	1.2	4.2	0.0
その他	0.3	▲4.8	2.7	12.3	▲3.5	▲6.2	13.3	▲0.8
科学光学機器	6.9	5.6	7.8	17.7	14.0	13.6	4.1	0.4

中国向け輸出金額 内訳								
	2011/06	2011/07	2011/08	2011/09	2011/10	2011/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	1.2	▲1.0	2.4	2.7	▲8.1	▲7.9	100.0	▲7.9
食料品	▲52.4	▲59.3	▲35.8	▲54.0	▲74.5	▲35.8	0.3	▲0.2
原料品	22.9	17.4	17.9	10.4	▲1.0	3.5	3.5	0.1
鉱物性燃料	183.2	▲2.7	▲32.1	▲4.3	11.0	48.7	0.9	0.3
化学製品	▲4.9	0.8	7.2	7.4	▲3.1	▲10.5	13.2	▲1.4
原料別製品	▲11.2	▲6.1	3.2	6.6	▲1.3	▲3.1	14.9	▲0.4
鉄鋼	▲13.5	▲6.2	2.8	2.7	▲5.9	▲13.4	4.9	▲0.7
非鉄金属	▲23.0	▲12.7	9.3	18.8	6.5	21.7	3.5	0.6
金属製品	▲7.4	▲9.0	3.8	5.2	1.4	▲4.9	1.8	▲0.1
一般機械	16.8	1.8	1.5	0.9	▲13.4	▲14.0	21.5	▲3.2
電気機器	▲2.7	▲2.4	▲0.1	▲3.6	▲14.6	▲9.8	22.3	▲2.2
半導体等電子部品	▲0.8	0.2	▲7.1	▲1.3	▲21.8	▲6.6	7.7	▲0.5
I C	▲0.5	4.0	▲7.0	2.3	▲25.1	▲6.7	5.6	▲0.4
映像記録・再生機器	▲6.2	▲1.4	24.4	▲30.4	29.1	▲52.9	0.6	▲0.6
音響・映像機器の部分品	2.2	1.1	19.1	29.0	▲1.4	▲14.7	0.8	▲0.1
電気回路等の機器	▲2.6	▲10.5	▲0.2	▲2.2	▲8.7	▲2.9	4.2	▲0.1
輸送用機器	▲8.1	3.8	21.0	13.1	10.7	▲2.5	11.6	▲0.3
自動車	▲7.5	▲2.0	14.7	7.7	13.9	▲8.5	5.3	▲0.5
自動車の部分品	▲11.7	8.8	23.6	15.6	6.5	3.2	6.0	0.2
その他	▲4.7	▲5.9	▲7.2	1.3	▲12.7	▲4.2	11.8	▲0.5
科学光学機器	4.1	9.0	5.7	21.4	21.3	18.1	5.5	0.8

(出所) 財務省統計より大和総研作成